

社名	株式会社東レリサーチセンター (Toray Research Center, Inc.)
設立	1978年6月1日 (昭和53年6月1日)
本社所在地	東京都中央区日本橋本町一丁目7番2号
資本金	2億5千万円 (授權資本10億円)

国内営業拠点

Sales office

東京	東京都中央区日本橋本町一丁目7番2号 (KDX江戸橋ビル6F) TEL (03)3245-5633
滋賀	滋賀県大津市園山1-1-1 (技術センター1号館2階) TEL (077)534-1655
名古屋	愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-20 (名古屋三井ビルディング新館13階) TEL (052)571-5510

国内事業所

Office

滋賀	滋賀県大津市園山3-2-11 (東レ滋賀事業場 研究西地区) 東レリサーチセンター1号館 TEL (077)510-9100
名古屋	愛知県名古屋市港区大江町9-1 (東レ名古屋事業場 第2工場内) TEL (052)613-5318
鎌倉	神奈川県鎌倉市手広6-10-1 (東レ基礎研究センター内) TEL (0467)32-9967

海外パートナー企業

partner

東麗分析技術開発(上海)有限公司 (上海市)
日商東麗科技工程股份有限公司 (台北市)
KTS Global Co., Ltd. (韓国・安養市)



‘TORAY’

株式会社 東レリサーチセンター



‘TORAY’

株式会社 東レリサーチセンター
<https://www.toray-research.co.jp/>

ご挨拶

Message

私たち東レリサーチセンターは、長年の実績と高度な分析・評価技術を活かし、お客様の課題解決に向けた“トータルソリューション”を提供しています。

社会や産業が大きく変化し、課題が複雑化するなかで、“答えの見えない問い”に真正面から挑み、お客様と共に新たな価値を創出する—それが、私たちの変わらぬ姿勢です。

1978年に東レ株式会社の研究開発部門から独立して以来、私たちはお客様の「信頼」を第一に、多様な研究・技術開発を支援してきました。大学との共同研究や社員の独自研究から生まれた分析技術、メーカーとの協創で生まれた最先端装置、社会人博士課程や海外留学で研鑽を積んだ専門人材。こうした“技術と人”の総合力こそが、私たちが誇る最大の資産であり、分析・評価の品質を支える力となっています。

私たちはこれからも世界最高の分析技術を軸に、お客様価値の最大化を目指していきます。そして、唯一無二のトータルソリューションカンパニーとして進化を続け、お客様や社会にとって「なくてはならない存在」となり、持続可能な未来の実現に貢献していきます。

導入装置



1978年 昭和53年
顕微ラマン



1983年 昭和58年
FT-NMR



1986年 昭和61年
GD-MS



1999年 平成11年
温度変調DSC

1988年
創立10周年 売上高42.6億円

1983年
名古屋に研究拠点を設置

1982年
The TRC News
発行開始

1997年
安定性試験センターを開設

1991年
海外留学制度開始

1998年
創立20周年 売上高68.5億円

1995年

1990年

1985年

1980年

1978年 設立
拠点：東京、滋賀、鎌倉
売上高4.6億円、要員数67人

1999年
ISO9001認定取得

経営理念

Management philosophy

高度な技術で社会に貢献する

私たちは、この基本理念のもと、「信頼性の高い技術を提供させていただくこと」(Technology)と「機密保持を厳守すること」(Trust)をモットーに掲げ、お客様の研究開発における原因解析や問題解決を支援しています。

導入装置



2000年 平成12年
Triple Q LC-MS/MS



2011年 平成23年
LC-MS/MS高感度TQMS

2003年
東レテクノ株式会社を
100%子会社化

2010年

2005年

2000年

2008年
創立30周年 売上高 78.8億円

2025年

2020年

2015年

2022年
滋賀新社屋竣工、先端分析
プラットフォーム(TAAP)設立

2022年
欧州ラボ(ドイツ・ミュンヘン)での
受託分析開始

2018年
東麗分析技術開発(上海)有限公司
(Toray Research Center (Shanghai)
Co., Ltd. (略称:TRCS))を設立

2018年
創立40周年 売上高 82億円



2018年 平成30年
NanoSIMS



2020年 令和2年
O-PTIR



2022年 令和4年
原子分解能TEM/STEM

共に挑み、共に解く 最良のパートナーとして

Business

革新的な製品・素材・機能・プロセスの創出から、製造現場の課題解決、カーボンニュートラルをはじめとする環境対応まで―未来を切り拓く挑戦に、私たちは伴走します。

高度な分析技術と物性評価を駆使し、課題の本質に迫り、解決までを一貫して支援します。

分析・評価によるトータルソリューション

総合分析により多様な課題解決を積み重ねてきた実績を活かし、幅広い分野の受託分析を行っています。

各分野に精通した営業担当者・研究員がお客様の課題を的確に把握し、解決に向けて最適な分析・

評価プランをご提案・実施します。

電池

リチウムイオン電池や燃料電池をはじめ、全固体電池などの次世代電池を含めた多様な電池の分析・評価を行っています。充放電に伴う形状変化や劣化原因の分析を数多く手掛け、総合的な分析によって課題解決をご支援します。

自動車・航空機・宇宙

自動車のEVシフトを支える電池材料や航空機の複合材料（コンポジット）、月面プロジェクトに用いる材料など、多様な分析・評価に対応しています。自動車から宇宙まで、幅広い分野を支える解析技術でモビリティの進化を加速します。

ライフサイエンス

創薬研究や医薬品の臨床試験、安定性試験をはじめ、信頼性の高い分析を提供しています。さらに、半導体や工業材料で培った先端分析技術を応用し、薬効メカニズムの解明や細胞内成分の空間分布の解析を実現。「見えない世界」を可視化することで、次世代医薬品開発を力強く支援します。

半導体

進化を続ける半導体の高性能化・微細化に対応し、高分解能&高感度な分析技術で次世代デバイスの本質に迫ります。先端分析装置を駆使し、半導体デバイスの微細構造の3次元解析から、材料の物性評価までを一貫して実施。ナノスケールでの欠陥検出や不純物分析も実現します。

電池

IT機器

IT機器

スマートフォンやパソコン、タブレット、VR（仮想現実）デバイスに用いる有機ELディスプレイをはじめ、5G通信に用いられる材料など、次世代IT分野の多様な解析・評価を実施しています。環境負荷ゼロを目指す製造プロセスの開発もサポートします。

環境

環境

PFASや燃料生成ガス、排ガスなど、環境保全に関わる試験・分析・評価を実施。触媒によって有害物質・排ガスを浄化するメカニズムの解析や、新たに社会問題化した有害物質を検出する分析技術の開発にも対応しています。

材料・素材

材料・素材

樹脂・プラスチック・ゴムなどの高分子材料や金属・無機・セラミックス材料をはじめ、電子機器や生活用品に使用される素材を対象に、各種物性や構造、組成を総合的に評価できることを強みとしています。

分析講座

分析・評価技術の原理から応用事例までを学べる、技術者向けの講座を開催しています。

製品販売

各種ポリマーのスペクトルデータを販売しています。

受託加工

40年以上にわたり半導体関連材料などへのイオン注入受託業務を行っています。

次の未来を切り拓く、 分析のプロフェッショナル集団

Service

社会や産業の変革がつかないスピードで進む中、私たちはお客様の未来を共に切り拓く
“最良のパートナー”であることを目指します。



真の課題を見抜く

“洞察力”



最適な手法を導く

“提案力”



信頼性の高いデータを用いた

“解析力”



分析の先にある未来を描く

“構想力”

40年以上の蓄積が育んだ、 揺るぎない解析基盤

高性能な装置だけでは、真の分析は成り立ちません。
1978年の創業以来、私たちはお客様とともに課題解決に挑み、培った経験と
技術の蓄積が、私たちの分析力を支えています。
装置メーカーや大学・研究機関との連携、協業するパートナー企業との
信頼関係も、私たちのかけがえのない資産となっています。



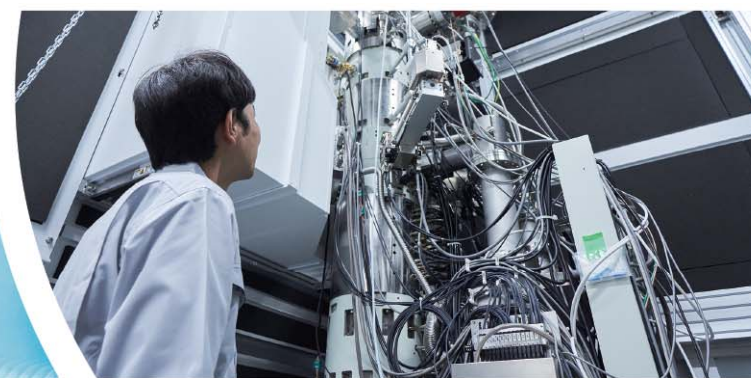
ディスカッションを重ね、 課題解決まで伴走する

私たちはデータを提出するだけの分析会社ではありません。
一般的な分析・評価サービスと、私たちが提供する“トータル
ソリューション”は大きく異なると考えています。お客様の課題を
丁寧にヒアリングし、ディスカッションを重ね、分析計画から
結果の考察までを共に創り上げる。課題解決までを伴走し
一貫して支援することが、私たちの変わらぬ姿勢です。



“最先端”を切り拓くための、 技術開発と人材育成

常に最先端の装置を導入し、メーカーと共に新技術を開発。
大学・研究機関との連携や社内の研究活動を通じて、社員一人ひとりを
スペシャリストとして育成。技術を磨き、人を育て、“総合力”を
高めながら、私たちは最先端の領域に挑戦を続けています。



一人ひとりの挑戦が、新しい技術を 生み出し、社会の未来を創っていきます。

Create the future

主な事業所

Office

東京本社を中心に、滋賀、名古屋、鎌倉に研究・営業拠点を展開しています。
海外では、東レグループ企業とも連携して、現地の先端分析需要にお応えしています。



滋賀



名古屋



鎌倉

東レ(株)基礎研究センター本館



東京



中国

東麗先端材料研究開発(中国)有限公司内
東麗分析技術開発(上海)有限公司



ドイツ

Toray Automotive Center Europe

東京



滋賀



名古屋



鎌倉



ご依頼の流れ

Flow



Webサイトの専用フォームからお気軽にお問い合わせください。
各分野に精通した担当者が、お客様の研究開発上の課題やご要望を
丁寧にヒアリングいたします。

ヒアリングの段階から秘密保持をいたします。
安心して課題をお話しただけのように、東レリサーチセンターでは
万全のセキュリティ対策と社内教育を行っています。

課題解決に向けた分析方法をご提案します。
お客様とのディスカッションを通じて、手法を最適化していきます。

分析方法の確定後、お見積りをご提出します。
分析内容・納期・費用をご確認のうえ、了承いただけましたら、
ご発注をお願いします。担当者より必要なお手続きをご案内いたします。

分析・解析を実施します。測定データを提出するだけでなく、
お客様の課題を踏まえた結果の考察も行います。

ご依頼内容によっては中間報告を行い、分析方法の見直しなどを行います。
中間報告・ディスカッションを複数回行う場合もあります。

分析・解析結果を報告書としてご提出します。お客様の課題解決にお役立て
ください。結果についてご質問や疑問点がございましたら、お気軽にご相談
ください。ご希望により報告会を開催し、分析・解析結果についてディスカ
ッションも可能です。

品質保証活動

Quality assurance

ISO9001品質マネジメントシステム登録

事業所	東京事業所、滋賀事業所、鎌倉事業所、名古屋事業所、名古屋営業部、関西営業部
登録証番号	JQA-QM3356

医薬品GLP適合確認

調査対象試験施設名	バイオ分析統合研究部 機能性分子分析室
調査機関/査察機関	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

ISO14001環境マネジメントシステム登録

事業所	滋賀、名古屋
登録証番号	JQA-EM0527(滋賀) JQA-EM0237(名古屋)

ISO/IEC 17025

機関名称	株式会社東レリサーチセンター 表面科学研究部 表面科学第1研究室(滋賀県大津市)
認定範囲	化学試験(付属書による。)
認定番号	RTL05240

THANK YOU